

図書館だより

問 市役所図書館 ☎65-1117



ホームページ



X

新しく入った本

図書名

筆者名など

- 誤解を招いたとしたら
申し訳ない 藤川 直也
- 憲法の学校 木村 草太
- 発達障害の子どもが
「困らない」学校生活へ 安井 政樹
- えらくならずにお金がほしい トイ アンナ
- 願わくば海の底で 額賀 濤
- 大事なものを手放しましょう。 本多 京子
- Z世代はなぜすぐに
辞めるのか? 泉澤 恵一朗



脳を休めれば
すべてがうまく回り出す
大嶋 信頼/著



ずるいおかず
ふじた かな/著



愛と勇気と
アンパンマンの言葉
小川 仁志/著

図書館では、幅広い年齢層に楽しんでいただけるよう、資料の貸し出しだけでなく、読書会やボランティアによる読み聞かせを行っています。

よつば読書会

- と き 6月14日(土) 午前10時～正午
- と ころ 弥富まちなか交流館
2階マルチルーム
- テキスト 「ひとりでカラカサしてゆく」
(江國 香織/著)
- 内 容 1冊のテキストを会員同士で読み、
意見や感想を述べ合いながら、
読書の領域を広げていきます

おはなしの会

- 対象者 幼児～小学校低学年向き
- と き 6月7日(土) [わらべ]
午後3時～3時30分
6月21日(土) [おはなしくまさん]
午後3時～3時30分
- と ころ おはなしのへや(図書館内)
- 内 容 絵本や紙芝居の読み聞かせ

- 対象者 乳幼児向き
- と き 6月28日(土) [たんぽぽ]
午前10時～10時30分
- と ころ おはなしのへや(図書館内)
- 内 容 絵本やわらべうたによる
親子のふれあい

■ 開館時間 火・水・木・金曜日 午前9時～午後7時 土・日曜日、祝日(月曜日を除く) 午前9時～午後5時
■ 休館日 毎週月曜日(祝日にあたる場合も含む)

ガイドボランティアが体験した

伊勢湾台風

伊勢湾台風から令和6年9月26日で65年が経過しました。このコーナーでは、現在ガイドボランティアとして活躍しているメンバーの被災体験を紹介します。

⑩被災地に向けたボランティア活動

当時は名古屋市中東区の県立高校の1年生で、幸いにも自宅などに大きな被害はなかった。しかし、伊勢湾台風の後すぐ、弥富など名古屋港の周辺地域で大きな被害が出たと聞いた。ボランティアという言葉もない頃だったけれど、通っていた高校の男子生徒たちはトラックに乗って、被災地の切れた堤防に土のうを積む作業に出かけていった。

私が通っていた高校の体育館は、各地から運ばれてくる救援物資の集積場所となり、そこでトラックに物資を乗せて被災地に出発していた。私は届いた救援物資を受け取ったり、トラックに乗せる準備をしたりするお手伝いをした。女生徒の友人の中には、炊き出しに行っておにぎりを作ってきたという人もいた。また、母や地域の女性たちは、町内に親と離れて避難してきたが自分で身の回りのことをするのが難しい小さい子たちを、交代で銭湯へ連れて行っていた。

それから、学用品が流されてしまった児童や生徒のために、使っていない教科書を提供してほしいという依頼があり、取り置いていた小中学生時代の教科書を全部提供した。今は弥富に住んでいるが、弥富の下の世代の子たちの中に、私の教科書を使って勉強した子がいたのかなと思う。

伊藤美恵子、当時高校1年生



▲復旧した国道1号線を疾走するトラック